

# 〇〇小学校登下校安全のしおり

# ご家庭用

平成29年10月 横浜市立〇〇小学校

〇〇小の子は、学校のめあて「自ら学び たくましく 心豊かな子」を目指しています。安全にマナーのよい登下校ができるようにしましょう。

## 登下校の目標

〇自分の安全と人への思いやりを考えましょう。

〇事故や災害からの身の守り方を理解し、行動に表しましょう。

登校班の友達、道を歩く方や住んでいる方々や、わたしたちを見守ってくださる人へお礼の気持ちをもって、マナーよく、挨拶ができるようにしましょう。

## 1 登校

- (1) 朝は、〇時〇〇分に門を開けます。自分から挨拶をしましょう。
- (2) 登校班で集まり、班長、副班長のいうことをきいて、一列にならんで歩きましょう。
- (3) 登校班は、プール棟の前でわかれます。
- (4) 一度登校してきたら、門から出たり、忘れ物をとりに行ったりする事はできません。
- (5) 集合時刻になったら、班長は出発します。遅れた人は、保護者の方が教室までお送りください。

## 2 下校

- (1) 下校は、「一人一人が班長」という気持ちで、集団登校で歩いた道を家まで帰ります。
- (2) 通学路を外れて友達の下校路に行ったり、友達の家寄りしません。(いつも帰る時間に家につかないと、学校や警察が探すことになります。)
- (3) 習い事などは、一度家に帰ってから行きましょう。

## 3 交通安全

- (1) 歩道橋は、一列になって、静かに歩きましょう。
- (2) 「歩行者用信号」の意味を知って、自分で判断しましょう。友達を追いかけて、赤信号や青の点滅の時は渡りません。  
ア 赤信号 止まれ … 渡りません  
イ 青信号 進んでよい … 「右・左・右」を自分の目で確認しましょう。青になってすぐは、車が猛スピードで通り抜けることがあります。  
ウ 青の点滅 止まれ … 歩道にいたら、渡り始めてはいけません。  
すでに渡り始めていて、渡り切れるなら、渡ってもよい。  
渡り始めていて、渡り切れないならもどります。
- (3) 交差点では、必ず一人ずつ「右・左・右」を確認して渡ります。
- (4) 「止まれ」の字が書いてある場所では、交差する道路を車が止まらずに来ることがあります。しっかりと止まって、「右・左・右」を確認して渡りましょう。
- (5) 友達を追いかけて、安全確認をしなかったり、赤信号や、青の点滅している横断歩道を渡ったりしないようにしましょう。

- (6) 次のようなことは、してはいけません。
- ア 走る、追いかけてっこをしたり、ふざけたりする。(走ることで、登下校中にけがをする人がたくさんいます。)
  - イ 右やカンをける。
  - ウ 人の土地の駐 車場やマンションの入り口に入ったり、通り抜けたりする。
  - エ 車やベル、人の家のものにさわる。
  - オ ランドセルを人にかつがせたりする。
  - カ 集合場所で大きな声を出したり、物の上に乗ったりする。
  - キ その他、友達や、通行する人、住んでいる人が、されたらいやなこと。
  - ク よくない行いを友達がしていても、自分はその「心の強さ」をもちましよう。  
(友達に合わせてやったり、やられたりしているうちに、エスカレートして、事故、迷惑行為、いじめになってしまうことがあるので、気を付けましよう。)

#### 4 安全のための知識と対策

- (1) 大雨や大雪
- ア 長靴やレインコートなど、濡れない対策をしっかりとましよう。
  - イ 滑って転ぶことのないように、足元に注意してましよう。
- (2) 雷・竜巻
- ア 雷の音が聞こえたり、稲光が見えたりしたときには、雷が落ちる場合があります。また、大きな入道雲(積乱雲)があると竜巻が起きる場合があります。
  - イ 雷・竜巻の危険があるときには、学校は下校を見合わせる場合があります。
  - ウ 下校の途中で、雷の音が大きくなったり、歩けないほど強い風が吹いてきたりしたら、マンションなど、丈夫な建物に入れていただき、管理人さんなどに助けを求めましよう。
- (3) 地震
- ア 通学路に、急な崖、ブロック塀、古い家や建物、看板、自動販売機などがあると倒れてくる場合があります。チェックしておましよう。
  - イ 立ってられないほど大きな地震を感じたら、できるだけブロック塀や、「落ちてくるもの・倒れてくるもの」がない場所に少しでも動ましよう。
  - ウ 「落ちてくるもの、倒れてくるもの」がある場所で、動けなかったり、逃げる場所がなかったりしたら、ランドセルを頭の上にして、頭を守りましよう。
  - エ 学校に行くか、家に帰るか、どこの地点で判断するかを日頃から決めておましよう。家に人がいない場合は学校に戻りましよう。学校では、皆さんを受け入れます。
- (4) 防犯
- ア 下校時なるべく一人にならないように、二人以上で帰れるようにましよう。
  - イ 日頃から、「子ども110番の家」などを確かめて、危険を感じた時には、助けをもとめましよう。
  - ウ 不審な行動(連れて行こうとする、車に乗せようとする、本当でなさそうなことを言っ連れて行こうとする、暴力をふるう)などのことがあったら、次のようにましよう。  
○大きな声で「火事だ!」や「助けて!」と叫ぶ。

- お店や「子ども110番の家」に駆けこんで、助けをもとめましょう。
- 警察への110番を早くしてもらおう。
- 家の人や学校に知らせる。何時間も経ってから連絡があっても、警察はその人を見つけることができません。なるべく早く警察に連絡ができるようにすることが大切です。

## 5 登下校のマナー

「自分がされたくないことは、決して人にしてはいけない」の言葉を忘れず、通行する方、住んでい  
る方に迷惑にならないようにしましょう。

- (1) 歩道橋や、狭い道などで、通行する人とすれ違う時には、おしゃべりをやめ、一列になってすれ  
ちがいます。
- (2) 雨の日に歩道橋の上で人とすれ違う時には、人に当たらないように外側に傾けましょう。
- (4) チラシなどを配ってくる人がいたら、ていねいに断りましょう。(手にチラシをもったり、途中で  
ランドセルに入れたりするのは、安全のためにもよくないため)

## 6 礼儀と挨拶

学援隊、方年青(おもと)会、見守り隊、交通安全協会の方、地区の当番の保護者の方、警察、先生な  
どは、みなさんの安全を守るために、協力してくださっています。また、マンションの管理人さんや同  
じ登校班の保護者の皆様も、みなさんの安全を見守ってください。自分から、「おはようござい  
ます。」「さようなら。」「ありがとうございます。」と言えるようになります。

## 7 通学路安全マップを作れるといいですね

地図に色鉛筆でマーク

赤…交通が危険な場所

茶色…崖・ブロック塀・落ちてくるものがある場所

緑…子ども110番の家やコンビニ、お店など、助けを求める場所

青…人に迷惑をかけないように気を付ける場所

〇〇年〇〇月〇〇日

保護者様

横浜市立〇〇小学校  
校長

「登下校安全のしおり」に基づく学校とご家庭での安全指導について

時下 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、本校の登下校における安全指導には見守り隊等のご協力を賜り感謝申し上げます。

さて、本校では、規律正しい集団登校が行われておりますが、下校については、集団登校の形はとっておらず、自由に下校しております。

しかし、主に下校時の安全への意識や、マナーには課題が指摘されており、道徳的に自立した子どもを育てようとする学校教育目標からも、指導を徹底する必要性を感じておりました。

そこで、昨年度から、児童の登下校の安全指導、防災教育、マナー指導の基本となるものを作成し、指導を徹底するために、「登下校安全のしおり」の策定を、PTA、学援隊の皆様の意見交換しながら進めてきました。

つきましては、本日、このしおりに基づいて児童には学校にて指導しましたので、今後ご家庭でも、また、見守り隊等でご指導いただく機会にも、これに基づいた安全指導、マナー指導をお願い申し上げます。